

みんなの願いは窓口無料 すすめる会ニュース 17-5号

2017年3月17日（金）

発行：福祉医療給付制度の改善をすすめる会

<http://www.medical-post.net/fukushi/>

（長野市高田中村276-8：長野県社保協内）

3/10 県議会健康福祉委員会で請願を「継続審査」に決定！またも、「塩漬け」状態に



「すすめる会」が提出した「子ども・障がい者等の医療費の窓口完全無料化を一刻も早い実現を求める」請願が3月10日午後県民文化健康福祉委員会で審査され結果、「採択すべき」が2人（共産党の高村・藤岡）、「継続審査すべき」が7人（丸山、村石、鈴木、竹内、吉川、山岸、中川）（委員長は採決に加わらず）で「継続審査」と決まりました。14日の本会議では、小池委員長から委員会報告があり、その中では、『（中略）福祉医療費給付事業の見直しに関して、昨年末

に国から示された見直し内容を踏まえ、1月に開催した検討会における検討状況や今後のスケジュール等について説明がありました。委員からは、福祉医療費の現物給付の導入範囲や受給者負担金の検討にあたっては、実施主体である市町村の意向を十分踏まえ、統一的にとりまとめるべきとの意見や、現物給付の早期実施に向け、市町村等の関係機関と連携し、一層努力するよう意見が出されました。（後略）』

私たちの切なる想いは、またも「継続審査」という「塩漬け」にされました。尚、昨日夕方、事務所に委員長を務める「小池久長」氏から署名への「賛同」（公表）の旨のFAXが届きました。

県知事要請署名～賛同者・協力者の輪更に広がる

＜3/15 現在集計賛同団体・個人＞ 74団体（非公表含む）

＜署名の追加依頼の状況＞

飯田市の民間病院から10枚、飯田市の民間保育園から15枚、下伊那の公立保育園から30枚、上水内郡の公立保育園保護者から32枚、松本市の民間保育園から110枚、一人親当事者団体から100枚、飯田市の小児科医院から20枚、千曲市の小児科医院から50枚、長野市の児童センターから10枚、諏訪郡の公立保育園保護者会から40枚、北安の自治体労働組合から10枚、下高井の自治体労働組合から40枚、医療系の職能団体から50枚、県関係の病院労働組合から30枚、飯田市の民間保育園保護者会から45枚、安曇野関係の公立保育園から260枚、安曇野関係の医療団体から120枚、下伊那の自治体労働組合から20枚、木曾地方の自治体労働組合から25枚、県段階の医療系職能団体から40枚、上伊那の公立保育園保護者会から25枚（以上既報）

その後、下高井の自治体職員労働組合から15枚、塩尻市に公立保育園から20枚、県的医療系職能団体から40枚、長野市の民間保育園から9枚、上伊那の自治体職員労働組合から25枚など、2644枚の署名の追加依頼があり、送付しました。

4月15日全県一斉街頭宣伝署名行動を成功させよう！

私たちは訴えます！ “医療費を一刻も早く窓口完全無料に” 当事者のつどい を成功させましょう！

開催日時：2017年3月26日（日）13:30～16:00頃

開催場所：長野市・高校教育会館別館2階大ホール